

リすん



原作 諏訪哲史

『リすん』講談社文庫刊

脚色 天野天街

演出 小熊ヒデジ
天野天街

出演

加藤玲那

菅沼翔也

宮璃アリ

少年王者館

【伊丹】 8月2日(土)・3日(日)
アイホール
伊丹市立演劇ホール

【多治見】 7月26日(土)・27日(日)
パロイ文化ホール
大ホール舞台上

【岡山】 7月19日(土)・20日(日)
岡山芸術創造劇場
ハレノワ 小劇場

【名古屋】 7月11日(金)・13日(日)
名古屋市千種文化小劇場
ちくさ座

名古屋 名古屋市千種文化小劇場 [ちくさ座]

〒464-0858 名古屋市千種区千種三丁目6番10号

7/11 金 ①19:00

※開場は開演の30分前

★=アフタートーク

12 土 ①14:00/②18:30

諏訪哲史(原作)

小熊ヒデジ(演出)

13 日 ①14:00★

出演者

司会進行:安住恭子

チケット料金 [全席自由席] *未就学児入場不可

前売・当日共	一般 3,000円	22歳以下 2,000円
	友の会・障がい者 2,700円 *窓口にて、会員証または障がい者手帳の提示をお願いします。	

チケット取扱い

teket (電子チケット) <https://teket.jp/1087/47446>

名古屋市千種文化小劇場[ちくさ座] TEL.052-745-6235

名古屋市文化振興事業団チケットガイド TEL.052-249-9387(平日9:00-17:00)

※事業団が管理する文化施設窓口(土日祝日も営業)でもお求めいただけます。

チケット発売日 5/9日 10:00

お問合せ 名古屋市千種文化小劇場[ちくさ座]

TEL.052-745-6235 [9:00-20:00(日祝17:00)]



☎月曜、祝休日の場合は翌平日]

FAX.052-745-6236

<https://www.bunka758.or.jp/facility/chikusa/>

主催:公益財団法人名古屋市文化振興事業団

アクセス
・地下鉄桜通線「吹上」下車7番出口より北へ徒歩3分
・市バス「大久手」下車すぐ(系統:吹上11、栄16、名駅17、八事12)
*駐車場に限りがありますので、公共交通機関でお越しください。

岡山 岡山芸術創造劇場 ハレノワ 小劇場

〒700-0822 岡山市北区表町3丁目11番50号

7/19 土 ①14:00/②18:30

※開場は開演の30分前

★=アフタートーク

諏訪哲史(原作)

小熊ヒデジ(演出)

出演者

チケット料金 [全席自由席] *未就学児入場不可

前売・当日共	一般 3,000円	U24 2,000円	*入場時要身分証提示 公演時24歳以下の方 *ぎんざやプレイガイド取扱いなし
--------	-----------	------------	---

チケット取扱い 車いすスペース:定員有り・要予約。ボックスオフィスにて取扱い

岡山芸術創造劇場ボックスオフィス

窓口・電話 TEL.086-201-2200(休館日を除く10:00-18:00)

オンラインチケット <https://piagetit.s2.e-gate.jp/ocacticket/pt/>

岡山シンフォニーホールチケットセンター TEL.086-234-2010(休館日を除く10:00-18:00)

イープラス eplus.jp/ファミリーマート

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード:533-299)

ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード:61592)

ぎんざやプレイガイド TEL.086-222-3244(10:00-18:30/土・日・祝9:30-17:00)

チケット発売日 5/17日 10:00

ハレノワ・メンバーズ先行(WEBのみ) 5/14日10:00-16日23:59

プレイガイド先行 5/16日10:00-23:59

お問合せ

岡山芸術創造劇場ハレノワ

<https://okayama-pat.jp/>

TEL.086-201-2200[10:00-18:00]

FAX.086-201-8004

主催:公益財団法人岡山文化芸術創造

共催:岡山市

アクセス
・JR岡山駅より路面電車
・東山行「西大寺町・ハレノワまえ」下車
徒歩約5分
・清輝橋行「大雲寺」下車 徒歩約5分
*お客様用の駐車場はございません。
公共交通機関をご利用ください。

※手荷物を預ける場合は、返金式コインロッカーをご利用ください。近隣施設にて託児サービスがございます。

地域公共劇場連携事業「りすん 2025 edition」リ・クリエイションツアー

原作*諏訪哲史

『りすん』講談社文庫刊

演出*小熊ヒデジ+天野天街

脚色*天野天街

スタッフ

舞台監督*山中秀一

舞台美術*田岡一遠 [マタタキ・マケット]

美術製作・小道具*小森祐美加 [マタタキ・マケット]

照明*福井孝子

音響*高橋克司

映像*浜嶋将裕

音楽*珠水 [少年王者館]

振付*夕沈 [少年王者館]

衣裳*雪港 [少年王者館]

写真*羽鳥直志

プロデューサー*松浦茂之 [三重県文化会館
副館長兼事業課長]

制作*小熊ヒデジ

演出助手*平林ももこ [劇団おおきりみかん]

制作助手*越賀はなこ/尾國裕子

企画製作*ナビロフト

協力*スペシャルサンクス

七ツ寺共同スタジオ/二村利之

寂光根拠的父/名古屋演劇教室

助成*一般財団法人地域創造

「お兄ちゃん、私たちがどうしたら小説の外へ出られるの?」
骨髄痛におかされて長期入院中の少女と、彼女と兄妹同然に育った青年の病室での会話。中国旅行の思い出や少女の母親のこと、ヘンテコな言葉遊び。2人のやりとりが同じ病室の女性患者者によって書かれた物語であったなら……。小説そのものの作爲性に果敢に斬り込んだ芥川賞作家・諏訪哲史の実験小説を、天野天街が「エンゲキでしかできないアレコレヤにオモイキリ変換」した名作。天野天街逝去後、小熊ヒデジの演出により今、蘇る!

上演時間:約1時間50分

「りすん」について 演劇評論家 安住恭子
またある天野天街の作品の中で、「りすん」は
かなり異色だったように思う。
彼は、美術や音響、映像だけでなく、役者の身体
や声までもふくめた、舞台を構成する全ての要素を
カラージュシ、万華鏡のような演劇を創ろうとした。
170人ももの出演者によって繰り広げられた、彼の
代表作の一つ「百人芝居◎真夜中の弥次さん喜多さ
ん」は、文字通り万華鏡のような華麗な舞台であった。
そうした作品群の中であって、唯一「りすん」はつ
つましい作品だった。出演者は、血のつながりのない
いと妹と、祖母の3人。舞台美術も透き通る白い
カーテンで囲まれたベッドだけ。ベッドに横たわっ
ているのは死の病に冒された妹で、兄と祖母がその
看病に訪れる。天野には珍しい日常的な会話劇であ
る。その簡素な会話劇の中に濃密な愛を浮き彫りに
した。演出家としての力量を改めて思わせたのであ
る。天野天街が亡くなって、彼の作品を観ることが
できなくなった。でも「りすん」が再演される。こ
んなに嬉しいことはない。

盟友天野天街の御魂に 小説家 諏訪哲史
今年も七夕が来る。去年天野さんが渡っていった
天の川が頭上に横たわり、帳を降ろした夜が地
上の芝居小屋の幕を静かに上げる。この他愛もない
兄と妹の小さな小屋、「りすん」という小説を、僕
はまるで教会の告解室くらい狭い、囁きの暗室とし
て創った。天野さんはそれを空き函のように開き、
無限の舞台に載せてくれた。僕にはない空前絶後の
演出の才、その持ち主が、親密な友として同時代の
名古屋にいた好運。七夕が来る度、僕は毎年それを
噛みしめるだろう。「諏訪くんは戯曲も書ける」天
野さんは度々そう言ったが、彼の生前、ついにその
本は書かれなかった。いつかあの世で天野さんに逢
えたら、今度こそ僕は身を焦がしてそれを書くのか
もしれない。今はただ、この小さな祈りの短冊を、
天野さんへの供物として笹の葉に結わえよう。

りすん 2025 edition リ・クリエイションツアー 関連企画



演劇ワークショップ with 天野天街メソッド

言葉あそびや繰り返しを多用し、唯一無二の劇世界を作り上げた劇作家・演出家の故・天野天街。そんな天野ワールドの創作過程を体験していただけます。前半は「初心者への演劇ワークショップ」を展開する俳優・小熊ヒデジのレクチャーも。演劇初心者、未経験者の方もお気軽にご参加ください。

対象 高校生以上(演劇初心者も大歓迎) 定員 20名程度

伊丹 5/9日 18:30-21:30

アイホール 兵庫県伊丹市伊丹2丁目4番1号
【申込み】参加申込みフォーム
【問合せ】TEL.072-782-2000 info@aihall.com

岡山 5/10日 13:00-16:00

岡山芸術創造劇場 ハレノワ 小劇場 岡山市北区表町3丁目11番50号
【申込み】参加申込みフォーム
【問合せ】岡山芸術創造劇場 TEL.086-201-8014

名古屋 5/27日 18:30-21:30

名古屋市演劇練習館[アクテノン] 名古屋市中村区稲葉地町1丁目47
【申込み】参加申込みフォーム
【問合せ】名古屋市演劇練習館[アクテノン] TEL.052-413-6631

※参加費等の詳細は各会場にお問合せください。

多治見 多治見市文化会館 バロー文化ホール 大ホール舞台上

〒507-0039 岐阜県多治見市十九田町2-8

7/26 土 ①14:00/②18:30

※開場は開演の30分前

★=アフタートーク

諏訪哲史(原作)

小熊ヒデジ(演出)

出演者

司会進行:安住恭子

チケット料金 [全席自由席] *未就学児入場不可

前売・当日共	一般 3,000円	U25 2,000円
--------	-----------	------------

チケット取扱い

バロー文化ホールチケットONLINE tajimi-bunka.or.jp/bunka

バロー文化ホール TEL.0572-23-2600(9:00-21:30)

チケット発売日 4/26日 7:00(インターネット)/9:00(電話)

お問合せ バロー文化ホール <https://www.tajimi-bunka.or.jp/bunka/>

TEL.0572-23-2600[9:00-21:30] ④火曜(祝日は開館)

FAX.0572-23-7555

主催:公益財団法人多治見市文化振興事業団

アクセス
鉄道:JR中央本線「多治見」駅(名古屋より快速で40分)北口から徒歩12分
改札を出て左折し、北口エスカレータを下りてください。線路を背にして800m直進します。精華小学校を過ぎ、国道19号線手前の右方面が「バロー文化ホール」です。
車:中央自動車道「多治見」I.C.より約10分
東海環状自動車道「土岐南多治見」I.C.より約15分

駐車台数に限りがあります(200台収容可能)。※満車の場合は、駅北立体駐車場ほか提携駐車場をご利用ください。公演当日に限り料金割引サービスを実施します。駐車券をバロー文化ホール事務所へご提示ください。



伊丹 Aihall 伊丹市立演劇ホール

〒664-0846 兵庫県伊丹市伊丹2丁目4番1号

8/2 土 ①14:00/②18:30★

※開場は開演の30分前

★=アフタートーク

諏訪哲史(原作)

小熊ヒデジ(演出)

出演者

司会進行:小堀 純

チケット料金 [全席自由席(整理番号付)] *未就学児入場不可

前売・当日共	一般 3,800円	伊丹市民割 3,300円 アイホールのみ取扱い	U25 2,500円 公演時25歳以下の方	高校生以下 1,500円
--------	-----------	----------------------------	--------------------------	--------------

※伊丹市民割・U25・高校生以下は入場時要身分証提示。

チケット取扱い

アイホール TEL.072-782-2000(9:00-22:00) ④火曜

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード:533-524)

カンフェティ http://confetti-web.com/@/listen2025_aihall

TEL.050-3092-0051(平日10:00-17:00)

チケット発売日 5/31日 10:00

お問合せ アイホール(伊丹市立演劇ホール) <https://www.aihall.com/>

TEL.072-782-2000 [9:00-22:00] ④火曜 info@aihall.com

主催:公益財団法人

いたみ文化・スポーツ財団

伊丹市

アクセス
・JR伊丹駅西側すぐ
・阪急伊丹駅より東へ徒歩10分
※専用駐車場・駐輪場はございません。
アイホール地下のアリオ駐車場(有料)をご利用ください。



神奈川公演 * 2025年8月7日(日)-10日(水) KAAT 神奈川芸術劇場

○車いすで鑑賞をご希望のお客様は、ご案内できるスペースに限りあるため、事前に各会場までお問合せください。 ○公演中止、または主催がやむを得ないと判断する場合を除き、ご予約・ご購入いただいたチケットのキャンセル・変更はお受けできません。 ○営利目的でのチケット購入ならびに転売は固くお断りいたします。